

令和4年度 第2回 中瀬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年12月16日(金) 10時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 中瀬小学校 会議室
- 3 出席委員 山本 忠雄、山下 勝康、村上 雅代、舟橋 弘子、
鈴木 英之、鈴木 康弘、田中 弥生
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 小杉 幸次（中瀬協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 田中 弥生
- 7 学 校 宮崎 秀樹（校長）、原 欣嗣（教頭）、平野 将太郎（CS担当教職員）、富永 幸代（CSディレクター）
- 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 学習発表会の感想
 - (3) 2学期の教育活動について
 - (4) 学校支援活動の進め方について
- 11 会議録作成者 CSディレクター 富永 幸代
- 12 会議記録

司会の平野(CS担当職員)から、委員全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、山本委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学習発表会の感想

学習発表会参観後、議長より委員に感想を求めたところ、以下の発言があった。

- ・セリフを上手く言えることに感心した。行動もテキパキとしていた。先生方の教育に感謝。(山下委員)
- ・子供たちの一生懸命な姿が良い。改めて人と人が物事を一緒にやることの大切さを感じた。子供たちは真剣で、その場を楽しみながら表現できる子に育っている。先生方の教育に感謝。良い姿を見せてもらった。(英之委員)
- ・表現することの大切さや表現する場の大切さを感じた。このような活動を見聞きする場をこれからもつくって欲しい。子供たちにとってかけがえのない体験だと思う。(舟橋委員)
- ・先生方のもつテーマや内容づくりなど、色々考えていると感じた。(康弘委員)
- ・マスク着用で制限はされているが、セリフや歌などを頑張っていた。カメラ撮影で手がふさがっている為か、保護者の拍手が小さいように感じた。コロナ禍で何かと制限されている中でも

このような行事ができることは良い。(田中委員)

- ・ 3年生は事前に調べていた龍灯と常夜灯のことを発表していた。頑張って調べたことをすばらしい発表に仕上げていると感動した。集団の連携がすばらしい。ひとりの場面でも声が大きく立派に表現していた。力が繋がっていると感じた。(山本委員)
- ・ 本番になるとこれだけ力を発揮することができる。子供たちは確実に力を付けてきている。(校長)

(3) 2学期の教育活動について

議長の指示により、平野主幹教諭から別紙資料に基づき2学期の教育活動について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ すばらしい活動の力を3学期に向けて、一年間の集約に繋げていただくことを期待したい。(山本委員)

(4) 学校支援活動の進め方について

議長の指示により、平野主幹教諭及び田中委員(学校支援コーディネーター)から別紙資料に基づき、今後の学校支援活動の進め方について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 今後3年間で形にしていきたいと思う。方針としては、1年目は地域の皆様や保護者の方々への周知と広報活動、2年目は先生方にも理解を深めてもらい、3年目はボランティア活動に繋げていきたい。教科書に基づいた学習と、地域の方々のボランティア活動を繋げていきたいと思う。ボランティアが集まるかどうかは心配。PTAの仕事とCSのボランティア活動を繋げている他学校もあるので、PTAとの連携をどうするかも考えたい。PTAでは役員決めが大変と感ずることがあるが、CSでは「やりたくない」より「やって良かった」と言えるボランティア活動ができればよいと思う。アンケート結果によると、調理実習・体育の補助などを希望する学年があるが、コロナの状況次第で外部の人が学校に入ることが可能な状況であればできるのでは。(田中委員)
- ・ PTAとの繋がりはあった方がよいと思う。何の為にPTAかを考えたい。ボランティアを助ける役目などができるのではないかと思う。(康弘委員)
- ・ アンケート結果にある「支援」については2年目からでも取り組めるのでは。地域の人などで手伝いができる人がいるのでは。登録だけでもしていただくのはどうか。(村上委員)
- ・ 情報があり需要があれば、その都度支援活動をやっていただくのはどうか。(山本委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

☆その他の連絡事項☆

司会から、第3回会議は、令和5年2月17日(金)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。